

大矢知安全パトロール会（四日市市）



力を合わせて安全なまちへ！

地域の経験×若者の視点

1 活動地域

四日市市は、日本のほぼ中央に位置し、東海・近畿・北陸という3つの経済圏につながる地理的条件にも恵まれ、古くから宿場町や市（いち）のまち、ものづくりのまちとして発展してきました。

私たちの活動する大矢知地区は、人口約21,000人で市内でも多くの住民が暮らす住宅地ですが、朝明川や里山といったまとまった自然があることが自慢です。また、国の史跡である久留倍官衙遺跡（くるべかんがいせき）や地場産業のひとつである大矢知素麺が有名な地区でもあります。

2 団体の概要

市内で発生した子どもが被害者となる事件の発生をきっかけに、子どもたちを見守る団体を設立したいと考えていた住民の背中を押すかたちで、自治会長・大矢知興譲小学校長・市民センター長が发起人となり平成25年12月に発足しました。

会員数は現在約90名で、地域住民だけでなく、小中学校PTAや民生児童委員、社会福祉協議会など様々な団体が加盟しています。

3 活動内容

(1) 会員による「都合のいい日 都合のいい時間 都合のいい場所」での見守り活動

私たちの活動スローガンである「都合のいい日 都合のいい時間 都合のいい場所」における見守り活動を、各会員が自分にできる範囲で行っています。例えば、登校・下校時に自宅前や通学路の交差点に立つことによる見守りや、ごみ捨てや犬の散歩など普段の生活をしながらの「ながら見守り」を行っています。

(2) 地域行事での見守り活動

各種団体の方が所属していることから、地域行事での活動も大切にしています。夏祭りや体育祭など、主な地区行事には必ず参加し、協力を行うこととしています。

(3) 四日市大学地域パトロール部との合同パトロール

「①住民自身で「自主的に防犯維持」ができる」、「②地域住民の防犯意識を向上させる」を活動理念とする四日市大学地域パトロール部と、平成29年1月から合同でパトロールをしています。

犯罪の起こりやすい危険個所を探し、重点的にパトロールをするようにしています。基本的には決められたコースをパトロールしていますが、地域の方からの不審者情報を参考に経路を変更するなど、柔軟に対応しています。

パトロール中には、盗難被害のある消化ホース格納箱の確認をあわせて行っているほか、道のゴミ拾いもしています。特にゴミ拾いに関しては、今年度からはSNSアプリを活用し、活動の広報を図っています。

4 活動頻度

- (1) 会員の「都合のいい時間」のほか、毎月1回パトロールを実施
- (2) 地域行事ごとに実施
- (3) 毎月第2火曜日に実施

5 課題

- (1) 若者の活動参画
- (2) 新たな参加者の獲得

6 課題の解決に向けた取組方策

- (1) PTA会長への働きかけを通じ、若者の活動への参加を促進しています。
- (2) 地域の行事に積極的に参加することで、地域の人たちと良好な関係を築き、活動を知っていただくことで、新たな参加者の獲得をめざしています。